

平成25年度千年のかくれんぼフォトコンテスト-入選作品24点のご紹介

(審査員は三好和義氏)

最優秀賞 「水面染まる峡谷を」



氏名： 楠本靖 (徳島県藍住町 在住)

撮影地： 山城町・大歩危

撮影日： 2013年11月16日

【審査員講評】

静かな水面に映り込んだ紅葉の美しさに息をのみます。色付き始めの山の表情でしょうか。山の影にある岩肌と日の当たる山肌を映した水面の明るさの絶妙な光のバランスが不思議な光景として印象に残ります。詩に読むような美しい風景を望遠レンズを使い、写真ならではの構図で切り取っています。舟を配することによって、ここがどれだけ大きな風景かが計れます。波を作りながら、走ってゆく姿に動きが生まれました。写真を見る人が、乗船している人達の気持ちに感情を移すことが出来るような見事な作品です。

壁いっぱい引き伸ばしてみたいスケールのある素晴らしい作品です。

第一席 「秋彩」



氏名： 森江正 (香川県善通寺市 在住)

撮影地： 東祖谷・奥祖谷二重かづら橋

撮影日： 2013年11月2日

【審査員講評】

木々の間に配された「かづら橋」。東祖谷の二重かづら橋です。山をバックに望遠レンズで撮ることによって、画面全体を彩りの紅葉で埋め尽くしています。緑もまじり、にぎやかな彩りです。カメラ任せのオートで撮ると、もう少し暗く写ってしまいますが、明るめに仕上げたので、人々の表情までハッキリと見えます。楽しげに、おっかなびっくりの足どりで、橋をわたるようす。美しい紅葉を見たいけど、ちょっと足元がこわい。そんなドキドキしている気持ちが、こちらに伝わってきます。

第二席 「少年」



氏名： 柳本正(徳島県阿波市 在住)

撮影地： 山城町・信正

撮影日： 2013年8月16日

【審査員講評】

8月16日に行われた山城町信正の「鉦踊り」の日のスナップショットです。祭りが始まる前でしょうか。ちょっと緊張したような表情を的確なテクニックでハッキリと捉えています。日中、ストロボをたいたことにより、目にライトが入りイキイキとした表情になっています。背景に置かれたあざやかな頭かざり。歴史を感じさせる建物。その前での少年の佇まい。日本人の誇りをも感じさせてくれる、いい作品です。マット調に仕上げたプリントも、正しい選択です。

第三席 「剣山冬日」



氏名： 佐竹清(徳島県三好市 在住)

撮影地： 東祖谷・剣山

撮影日： 2013年12月25日

【審査員講評】

降ったばかりの雪の重さに変型した枝がおもしろい形になりました。朝日に浮かび上がる巨大な恐竜のようです。朱鷺色に染まる信じられない光景です。ほんの一瞬のシャッターチャンスを見事にものにしましたね。三好市観光協会の公式キャラクター「秘境竜」ですね。抜けるような青空をワイドレンズで広くとり、雲海や山なみを画面下に配し、スケールのある一枚に仕上げています。こんな雪の中、山頂近くに居たカメラマン。意気込みが凄い。

入選 「ふれあい」



氏名： 阿河洋一(香川県坂出市 在住)

撮影地： 山城町・藤川谷

撮影日： 2013年11月24日

【審査員講評】

11月24日の山城町の「妖怪まつり」でのヒトコマです。ドキドキしている子供の気持ちがダイレクトに伝わってくる、イキイキとしたゆかいな作品です。子供の後ろ姿が全てを物語っていますね。妖怪の手の表情もいい。笑ってしまいます。

入選 「雪景色に溶け込むかずら橋」



氏名： 城島圭吾(大阪府大阪市 在住)

撮影地： 西祖谷・祖谷のかずら橋

撮影日： 2013年12月28日

【審査員講評】

12月28日に撮っています。すごい雪ですね。泊まり込んで撮ったからこそ、奇跡の一枚です。うんと明るく撮ることによって、水中や岩肌の調子が見えて、奥行きと広がりを感じさせています。墨絵のような格調のある一枚です。

入選 「春を待つ落合の里」



氏名： 古家秀俊(香川県三木町 在住)

撮影地： 東祖谷・落合

撮影日： 2013年2月23日

【審査員講評】

急な雪山の斜面に咲く福寿草。彼方にひっそりと落合集落があります。昔ばなしの絵本に出てくるような構図です。少し覗いた青空と黄色い花が心を温めてくれます。花はピシッとシャープに、全体はソフトなピントの合わせぐあいも絶妙です。

入選 「一面の秋色」



氏名： 加藤敬二(徳島県石井町 在住)

撮影地： 山城町・塩塚高原

撮影日： 2013年9月26日

【審査員講評】

逆光に輝く銀色のススキを塩原高原で撮っています。秋風を感じさせるスケールのある作品です。馬の毛並みのようにキラキラした柔らかい感触が魅力です。構図、光の読み方が抜群に上手い。

入選 「激流に挑む」



氏名： 石角尚義(香川県三豊市 在住)

撮影地： 山城町・小歩危

撮影日： 2013年8月16日

【審査員講評】

数多く寄せられた激流下りの作品。その中でこれが一番良かった。楽しげな人々の表情がシャープに捉えられています。大岩、流れに対して絶妙なポジションに小さく配されたボート。美しい水の透明感、ダイナミックな流れが高速シャッターでバシッと決まっています。

入選 「小便小僧」



氏名： 森本功(徳島県美馬市 在住)

撮影地： 池田町・松尾

撮影日： 2013年9月20日

【審査員講評】

小便小僧を撮った作品もたくさん集まりました。なかなか難しい被写体です。まわりの風景が雄大過ぎて、その場の感動を伝えるのが難しいのです。この作品は魚眼レンズを使うことによって、180度まわりの風景全てを一枚に収めています。背筋がゾッとしました。

入選 「冬山河」



氏名： 藤沢さよこ(香川県高松市 在住)

撮影地： 東祖谷・奥祖谷二重かずら橋

撮影日： 2014年1月13日

【審査員講評】

ふたつの「かずら橋」がワイドレンズを使い、巧いぐあいに重なり合っています。右下に小さく配された人物によって、ぐっとスケール感が出ました。溪流の音が静かな雪景色の中に響いています。逆光で雪の立体感も出ました。

入選 「溪流～秋の音が聞こえる～」



氏名： 小濱公子(徳島県徳島市 在住)

撮影地： 東祖谷・奥祖谷二重かずら橋

撮影日： 2013年11月3日

【審査員講評】

絵になる「かずら橋」と紅葉ですが、これは、しっとりと濡れた雨の日に河原に下りて撮っています。うす暗い中でスローシャッターで撮ったので、水の流れが雲のよう幻想的に写りました。岩に貼りついた紅葉も、青い流れの中で、いいアクセントになっています。クリスタルプリントを使った格調高い作品です。

入選 「春爛漫」



氏名： 半明薫(香川県多度津町 在住)

撮影地： 西祖谷・祖谷のかずら橋

撮影日： 2013年5月1日

【審査員講評】

満開の藤の花。見事です。こんなに咲く年もあるんですね。ひっそりと配されたかずら橋。奥行きのある構図がうまい。全体に暗めに、またブルーの色調に整えたのも良かった。

入選 「初夏の夏」



氏名： 豊田郁夫(愛媛県四国中央市 在住)

撮影地： 池田町・大利

撮影日： 2013年6月12日

【審査員講評】

池田町大利宮平のホテルです。真っ青に澄み切った夜空には無数の星。ホテルと一体に輝く、その様は感動的です、真上を向けてワイドレンズで捉えた、奇跡の一枚です。

佳作「天空の里」



氏名： 松浦忠一(大阪府高槻市 在住)

撮影地： 東祖谷・落合

撮影日： 2013年10月19日

【審査員講評】

沸き立つ雲。まさに天空の里です。重なる山並みの間に営まれる人々の暮らし。トンネル、つづら折の道、清らかな溪流、見れば見るほどジオラマのようです。素晴らしい一枚です。人の姿まで見えるようなシャープで緻密な描写も見事です。

佳作「秋模様」



氏名： 富田則雄(香川県高松市 在住)

撮影地： 東祖谷・奥祖谷二重かずら橋

撮影日： 2013年11月1日

【審査員講評】

かずら橋と滝を巧く一枚に配しています。紅葉と青白く輝く水のコントラストが美しい。小さく人物を配してスケール感を出しています。

佳作「フレンドリー阿波踊り」



氏名： 宮脇俊充(香川県坂出市 在住)

撮影地： 池田町

撮影日： 2013年8月15日

【審査員講評】

ローカルな阿波おどりが微笑ましいですね。浮かれておどる子供の姿。後ろから撮ることによって、カメラマンも一緒に踊っているような、よろこびや臨場感が伝わってきます。徳島市内の大きな栈敷とは違って、温かみがあり素朴さに心がなごみます。

佳作「ソバ畑」



氏名： 岸田義市(徳島県吉野川市 在住)

撮影地： 東祖谷・久保

撮影日： 2013年9月18日

【審査員講評】

青空の下、白いツバの花が輝いています。広角レンズを使ってスケールを出しています。奥に連なる山並み。小さなお墓もあり、人々の暮らしが見えます。

山里のほのぼのとした桃源郷のヒトコマです。

佳作「代挽き」



氏名： 松本憲知(香川県丸亀市 在住)

撮影地： 井川町・下影の棚田

撮影日： 2013年5月17日

【審査員講評】

井川、下影の棚田です。作業している人々を小さく配し山間のスケールを感じさせる、日本の懐かしい風景です。積み上げた石垣が山奥の歴史を感じさせてくれます。カエルの声が聞こえてきそうです。

佳作「満開の園」



氏名： 高橋弘(香川県丸亀市 在住)

撮影地： 西祖谷・中尾

撮影日： 2013年5月19日

【審査員講評】

桃源郷といえる見事な光景に息を飲みます。

奥深い森に迷い込んだようです。苔むした木を大きく手前にクマガイソウなど色とりどりの花を一枚の画面に配したあたりが巧い。雨に濡れた瑞々しさもいい。手前から奥まで気持ちよくピントがきています、相当なベテランですね。

佳作「祖谷温泉に出現」



氏名： 紅露儀一(徳島県阿南市 在住)

撮影地： 池田町・松尾

撮影日： 2013年8月9日

【審査員講評】

カモシカが突然、目の前に現れたのですね。驚いた、その時の心の動きが伝わります。スマホで撮ったのでしょうか。画面が荒れていますが、人に気持ちを伝えてくれます。

佳作「1100年の雨乞い」



氏名： 石川賢一(高知県高知市 在住)

撮影地： 西祖谷・神代踊り

撮影日： 2013年8月1日

【審査員講評】

西祖谷山村善徳で8月1日に行われる「神代踊り」です。僕も行ったことがあります。大きな太鼓の音に誘われて雨が降って来るそうです。そんな神秘的な情景を印象的な一枚に仕上げています。覆い焼きなどテクニックを駆使した美しいプリントです。

佳作「窓明かり」



氏名： 山田和範(香川県善通寺市 在住)

撮影地： 東祖谷・落合集落

撮影日： 2013年12月19日

【審査員講評】

絵になる落合集落ですが、うす暗い中にも人の生活の暖かみが伝わる美しい一枚になっています。霧が晴れた一瞬。全体を青く仕上げたあたりに、作者の技を感じます。

佳作「五所の大杉」



氏名：近藤正(徳島県三好市 在住)

撮影地：西祖谷・五所神社

撮影日：2013年9月8日

【審査員講評】

神社の前にそびえる杉を見事に捉えました。普通のレンズでは捉えられない大きな杉。魚眼レンズを用意して一枚に収めました。神秘的とも言える見事な枝ぶりです。小さく人を配して、このスケールを伝えています。

以上。